

# 神戸大学海事科学部オープンキャンパス2014

## 「海事博物館の公開」



海事博物館は、広く海事に関する内外の資料を収集し、展示して、教育と研究の参考に資するとともに、海事思想の普及に寄与することを目的として、学内外に向けて収蔵品の一部を常設展示し公開しています。オープンキャンパスに併せて特別に博物館の公開を行っています。

当館は、その前身の神戸高等商船学校や神戸商船大学時代から現在にかけて海事に関係する資料を幅広く蒐集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の普及に寄与してきました。平成15(2003)年10月には神戸商船大学と神戸大学とが大学統合しましたが、その1年後の平成16(2004)年10月に“海事博物館”へと名称を改めて現在に至ります。

収蔵品には、江戸時代後期から日本沿岸や瀬戸内海などで活躍した北前船や樽廻船などの和船模型をはじめ和船の部分実物、船大工の板図や道具類、航路図や航海の安全を祈願して奉納した絵馬の他、西洋型帆船模型や近代の航海用具、レシプロ機関模型や商船模型などがあります。

実施日時： 8月8日(金) 10:00~16:00

実施会場： 海事博物館

※ 事前申込みは必要ありません。随時、自由にご覧いただけます。入場は無料です。

展示内容：常設展示及び企画展 「船舶模型から学ぶ人・海・船」～海運の過去・現在・未来～

海事博物館では常設展示の他に毎年7月の「海の日」を記念して企画展を開催し、そのテーマに沿って館内の展示を更新しています。今回の企画展は、「船舶模型から学ぶ人・海・船～海運の過去・現在・未来～」と題して、四方を海に囲まれた島国「日本」の豊かで文化的な生活を支える海運の主役である「船」をテーマに、当館が所蔵する大小多数の船舶模型を展示しています。船や海運とその歴史をたどってみてください。そこにはきっと新たな発見があるでしょう。